



冬ならではの学習を進めています v o l II

## 『氷のお面』 展示 ~冬となかよし~



今年の「おびひろ氷まつり」に2年生と森の子学級の子も達が氷のお面を作って展示してきました（上の写真 ~氷のお面の展示は3年ぶりに再開されました~）。また、1年生も氷のお面づくりにチャレンジしました（下の写真 ~校務員の金谷さんが1年生のために、掲揚塔の児童玄関側に特設の展示コーナーを作ってくださいました ~ **現在も展示中です**~）。どのお面もそれぞれに趣（おもひ）があり、とてもかわいらしくできていました。帯広ならではのイベントに参加して、冬を楽しむことができました。



## スケートの学習が終了しました！！

今年は例年より少し早くスケートリンクをオープンすることができました。どの学年も予定していた時間をスケート学習に当てることができました。寒さが厳しい日もありましたが、子ども達は寒さに負けることなくスケートを満喫することができました。スケートは、帯広十勝の冬の風物詩であり、十勝の冬ならではのスポーツとして親しまれてきました。短い期間ではありましたが、心と体を鍛えることができましたように思います。また、低学年の保護者の皆様には、お忙しい中、靴紐しばり等のご協力をいただきました。感謝申し上げます。ありがとうございました。

## 小中学生いじめ・非行防止ファミリーサミットに行ってきました



2月2日(木)15:00から緑園中学校生徒会室を会場にエリアファミリーサミット(緑園中、開西小、本校の生徒会・児童会役員の交流会)が行われました。本校からは、児童会会長と副会長が参加しました(昨年度はオンラインで開催しました)。まず、各校から、今年度の活動スローガンに基づく取り組み

の報告を受け、交流・協議へと進めてました。

本校からは、いじめ防止に向けた取り組みとして、『友情&助け合い』をテーマにした絵コンテストや『ピンクアイテムデー』、学年交流を発表しました。参加した児童からは、このサミットを通して、各校の取り組みの良さに気づき、自分たちの学校の取り組みに活かしていきたいという想いを強くしたようです。

## 節分には豆まき ~ 学校からも邪気を追い出しました~



2年生の教室での一コマ ~ 鬼もタジタジでした~

節分の豆まきは、立春の前日に行われる日本の伝統行事です。起源はいくつか説があるようですが、平安時代に宮内で行われた追儺(ついな)という儀式に由来していると考えられています。

この儀式では、季節の変わり目に訪れる病気や災害などを鬼に見立て、外に追い出すという厄払いが行われていて、現代の豆まきの原型になったといわれています。

豆まきに使われるのは、一般的に炒った大豆です。そこから「鬼は外!福は内!」と唱え、鬼の面を被った鬼役に投げつけます。この言葉は「福を入れ、災いを入

れないように」という意味であり、豆をまくことで邪気を払い、福を家に呼び込めると考えられています。

また、地域によっては、豆を投げた後に自分の年齢と同じ数の豆、もしくは自分の年齢+1個の豆を食べる風習があるそうです。これには、長寿と健康、そして財運に恵まれるという願いが込められてるようです。

本校でも、森の子学級と1年生、2年生の教室に赤・青の鬼が登場!!子ども達は元気に「鬼は外!、福は内!」と唱えながら、豆をまいて鬼を退散させました。子ども達のパワーには感心させられました。

## 後記

今号の標題「立春(りっしゅん)」(二十四節気の一つ)は、暦の上で春が始まる日を言います。二十四節気最初の節で立春の前日の節分には季節の分かれ目を指し、八十八夜や二百十日などは立春から数えます。立春とはいえ厳しい寒さが続く頃ですが、日脚が少し伸びたと感じられ、日の入りは冬至の頃より約40分遅く、日の出は約10分早く、昼間の時間が約50分長くなっているそうです。気温は寒さのピークを過ぎていき、少しずつ寒さが和らぎ始めます。着実に季節は春へと移ろっています。